

令和7年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 10		学校名	県立友部東特別支援学校										学校長名	栗木 理伸												
副校長名						教頭名	大島 聖子					事務（室）長名	荒木 恵子														
教職員数	教諭	37	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	1	実習助手	2	寄宿舎指導員	0	事務職員	3	技術職員等	3	SSS	1	計	53							
児童・生徒数	部	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数											
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女												
	小学部	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3	3	4											
	中学部	1	0	2	0	4	3							7	3	4											
	高等部	2	0	4	1	5	0							11	1	3											
														計	21	7	11										
訪問教育	病院名		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計												
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計								
	県立こども病院		1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	6				
	県立こころの医療センター		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1			
	筑波大学附属病院		1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5	1	6		
	県立医療大学付属病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	2	1	0	0	1	1	0	3	3	6
	土浦協同病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計		2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	1	0	0	3	3	1	0	0	1	1	0	12	7

2 目指す学校像

- ◆こころとからだにやさしく寄り添う学校
- ◆「夢や希望」に向かって自分らしく成長できる学校
- ◆信頼とつながりを大切にする学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流や地域の教育的資源を活用した取り組みを計画し、事業所での販売、ボランティア活動、ラグビー教室など実施することができた。 ・いじめ防止基本方針を全教職員への周知し、アンケートや聞き取り調査の結果を適切に活用して児童生徒の様子や変化を読み取り、悩みに寄り添いいじめの未然防止に努めた。 ・勤務時間を意識した働き方の意識は高まっており、時間外勤務も少なくなってきたが、さらなる業務の効率化が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流を通して、学校をさらに知ってもらい、地域の教育的資源を活用した取り組みを行っていく。 ・毎日の「心の健康観察」を活用し、児童生徒の体や心の健康状態を把握し、指導に生かしていく。 ・医療や福祉等（訪問教育では前籍校）の関係機関と連携し、児童生徒の支援の充実を図る。 ・ICTを活用した業務の効率化（ワークフローの導入、チャット機能を活用した連絡報告）に取り組む。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・Co-MaMe（こころの病気のあるこどもへの教育支援）等のアセスメントを活用している。 ・ICT機器を授業で積極的に活用し、個々の生徒に合わせた指導を行っていることにより、児童生徒が安心して意欲的に授業に取り組むことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Co-MaMe等のアセスメントツールをさらに活用し、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法について、授業づくり、授業改善に取り組む必要がある。

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 医療との連携により、病弱教育の専門性の向上に努める。 2 多様な学びの場において、児童生徒がよりよく学ぶ環境を整え支援にあたる。 3 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒一人一人の状態に応じた学習を推進する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
①自立と社会参加に向けたキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣と豊かな心の育成 ○切れ目のない支援と、系統的なキャリア教育の推進 ○進路選択を促す体験的な学習の充実及び個に応じた適切な進路指導 ○地域との交流や地域の教育力・資源等を活用した教育活動への展開（コミュニティ・スクール）
②一人一人の個性や特性及び状態に応じた指導・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの気持ちの理解と、学習空白に対応した適切な指導・支援 ○教育的ニーズに応じた柔軟な対応と分かる授業の実践 ○自立活動の指導内容を意識した教科指導の充実 ○各授業における ICT の有効的な活用
③病弱教育の専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな専門性を踏まえた一人一人に寄り添う支援 ○校内研修等の充実による、専門性の向上 ○医療・福祉等、関係機関との連携・協働を通じた、支援の充実（学校病院連絡会・復学支援会議・校内教育支援会議等）
④センター的機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○県内唯一の病弱特別支援学校として、組織的な支援を推進 ○教育相談及び入試相談の充実 ○病弱教育の積極的な発信 ○個別の教育支援計画及び個別の指導計画作成と活用の支援
⑤安全・安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○心の居場所となる安心して学べる学校づくり（オンライン相談窓口の活用等） ○いじめの予防的取り組みと組織的対応の充実 ○感染症等対策の徹底 ○危機管理マニュアル等の評価・見直し・改善 ○職員のコンプライアンス意識の醸成